

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 西成区
学校名 大阪市立まつば小学校
学校長名 石橋 博康

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立まつば小学校では、第6学年 37名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の正答率は、大阪市・府・全国平均を下回った。内容・観点別の正答率においては、言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化に関する内容、書く、読むの観点の正答率が低かった。算数の正答率も、大阪市・大阪府・全国平均を下回った。内容・観点別の正答率でも、図形、測定の領域、知識・理解の観点が特に低かった。理科の正答率も、大阪市・大阪府・全国平均を下回った。内容・観点別の正答率でも、「生命」「地球」の内容、思考・判断・表現の観点が特に低かった。どの教科においても、学習内容の反復練習を繰り返したり出題パターンを変えたりしながら、基礎・基本の力の定着を図ることが大切である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 読むことに関わっては、文章全体の構成をきちんととらえ、要旨を把握できるように読み取る力を伸ばすことが必要である。書くことに関わっては、何を伝えたいのか明確にし、相手に伝わるような書き方を工夫することが必要である。話す・聞くことに関わっては、相手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることが大切である。また、正確に文章を読むための漢字の読み解きの力も定着させることも必要である。

〔算数〕 数と計算については、文章だけで立式するのではなく、図や絵で表すなどのイメージ化により計算の意味を把握するように意識したい。特に、単位数のいくつ分という意識をもって計算したり、数直線などの1目盛りを意識して読み取ったりする力を高めたい。図形については、長さや角度を測定し、作図する経験を通して、図形の性質をしっかりと把握することが大切である。変化と関係については、様々なグラフや表を読み取ったり、様々なデータをグラフや表に表したりする活動を通して、資料に慣れることも大切である。

〔理科〕 全般的に、基礎基本の知識を定着させるだけでなく、実験の条件や課題の解決方法を考えたり、結果から共通点や差異点、新たな課題を見つけたりするなど、発展的にとらえていく力も身につけたい。また、結果から結論に導いた理由を明確にしたり、条件を変えた時の結果を予想したりできるように、実験や観察の後のまとめまできちんと理由づけて理解できる力を伸ばしていきたい。

質問調査より

大阪市・府・全国平均に比べると、朝食や就寝時刻、起床時刻について否定的な回答が多く、基本的な生活リズムが十分に確立できていない児童が多い。「先生がよいところを認めてくれている」と思っている児童は多いものの、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と思う児童の割合は若干少なく、自尊感情を高め、自信を持てるようにしていきたい。勉強に対しての好き嫌いや得意・苦手に関する質問では、否定的な回答が多く、苦手意識や自信のなさを感じられる。「1日当たりに勉強している時間」や「1日当たりの読書の時間」は少なく、ゲームやSNS、動画の視聴等の時間が長いと考えられる。学校から与えられた課題だけでなく、自ら課題を見つけて計画的に家庭学習をする習慣を身につけたい。

今後の取組(アクションプラン)

学力は学年や個人によって大きな差があるため、学力向上の取組は継続しながら工夫や改善を加えていくことが大切である。漢字や言葉に関わる言語事項、四則計算等の基礎基本の力を定着させるためには、繰り返し練習するとともに、個々のつまずきを把握し、丁寧に積み重ねていかなければならない。また、理解を深めていくためには、様々な場面での話し合い活動を活性化させていくことも必要である。話し合いを進めるためには、友だちの考え方や意見を聞いたり、文章を読みとったりしなければならない。そして、自分の考えを言葉で発表するだけでなく、文章に書いてまとめたり、図や絵等で表現したりすることも大切である。関心をもって学習に取り組んでいくためには、ICT機器を効果的に活用し、調べる学習だけでなく発表・表現する学習として幅広く活用できるように工夫していくことも必要である。自分自身の課題をしっかりと把握することで、自ら課題を克服し、自信をもてるようにしていきたい。そのためにも、自主的に学習する習慣を身につけ、その環境を整えていけるよう、家庭への啓発も含めて取り組んでいきたい。

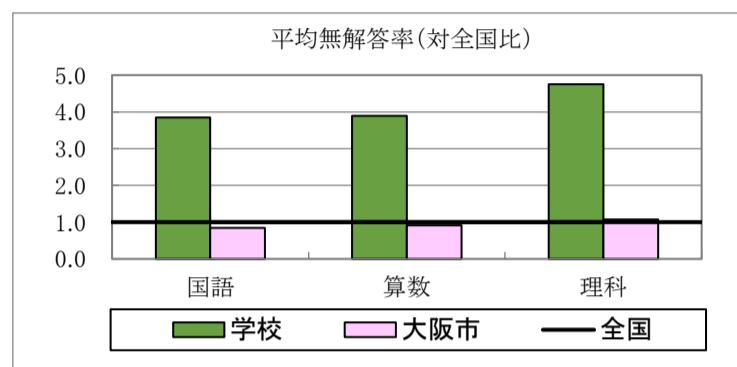
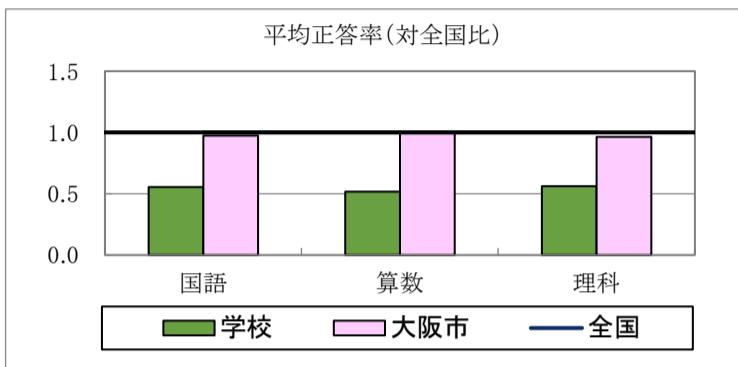
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	37	30	32
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	12.7	14.0	13.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



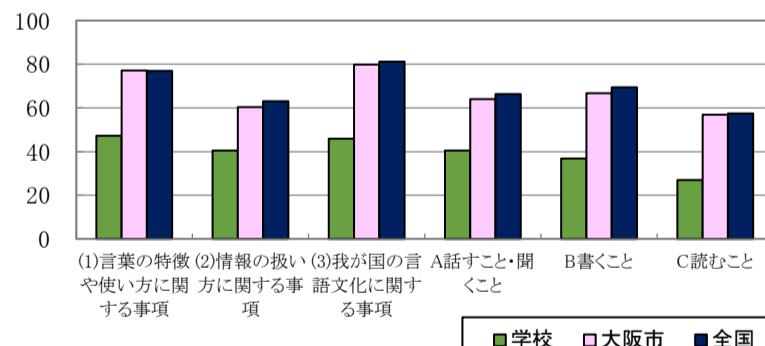
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	47.3	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	40.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	45.9	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	40.5	64.0	66.3
B 書くこと	3	36.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	27.0	56.9	57.5

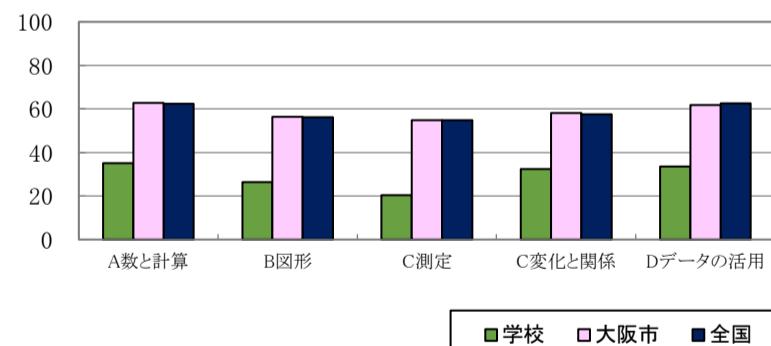
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	35.1	62.7	62.3
B 図形	4	26.4	56.4	56.2
C 測定	2	20.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	32.4	58.2	57.5
D データの活用	5	33.5	61.9	62.6

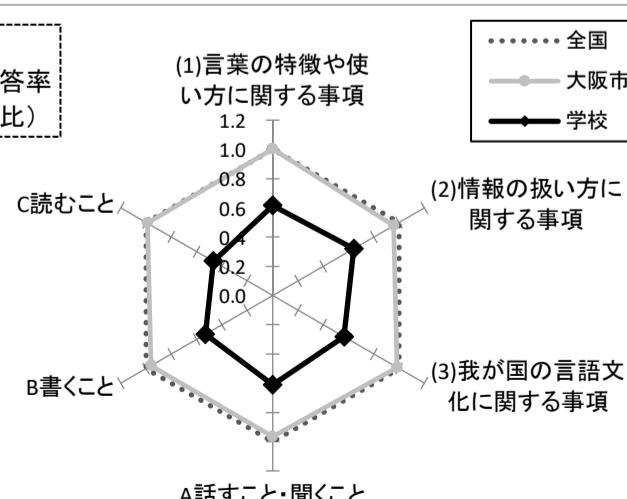
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



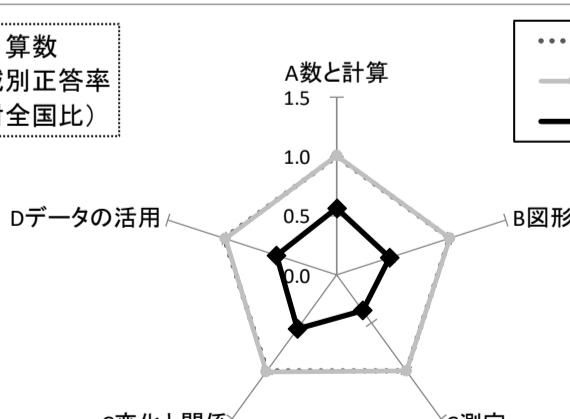
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

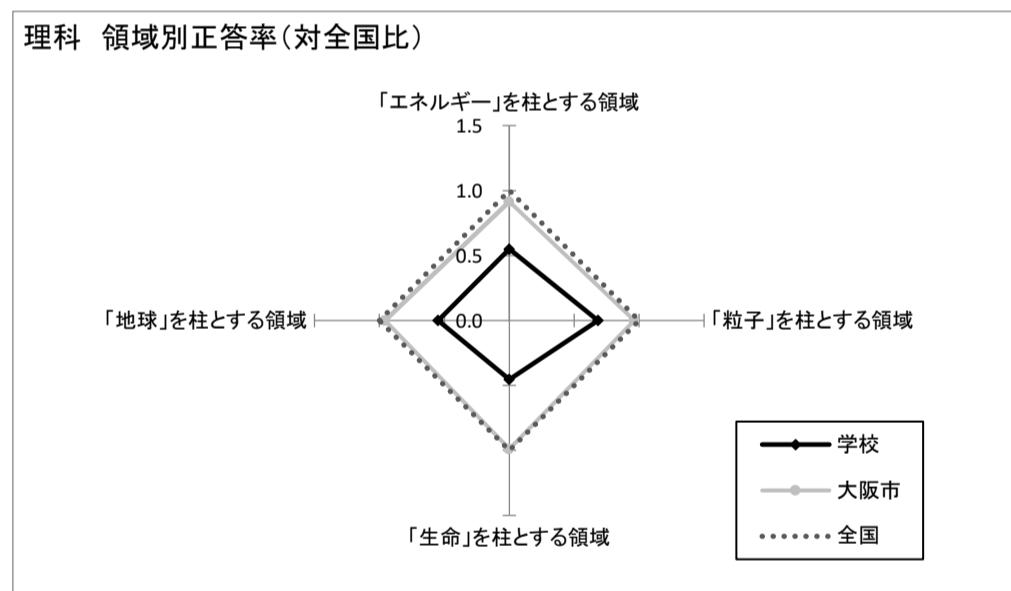
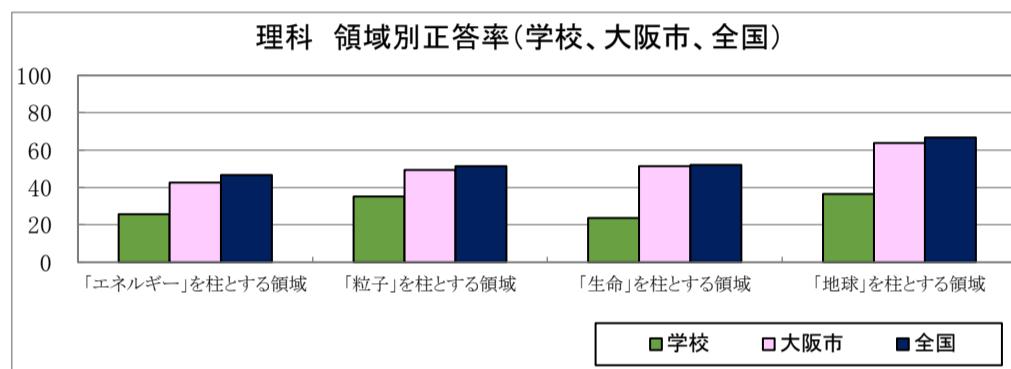


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	25.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	35.1	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	23.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	36.5	63.8	66.7



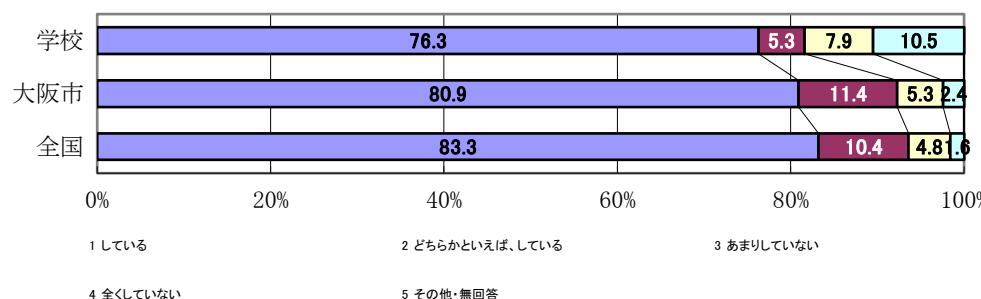
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

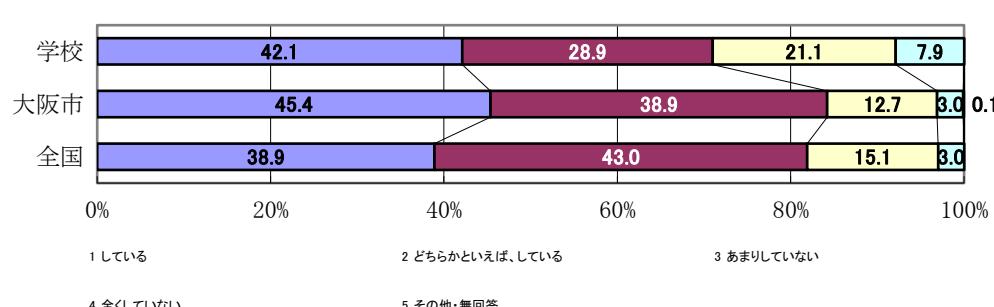
1

朝食を毎日食べていますか、



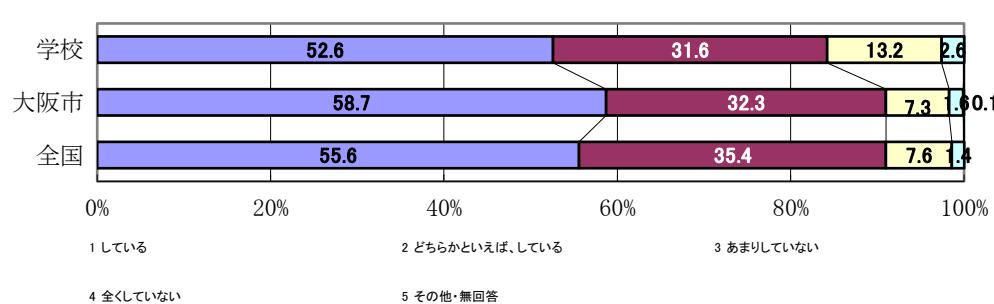
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、



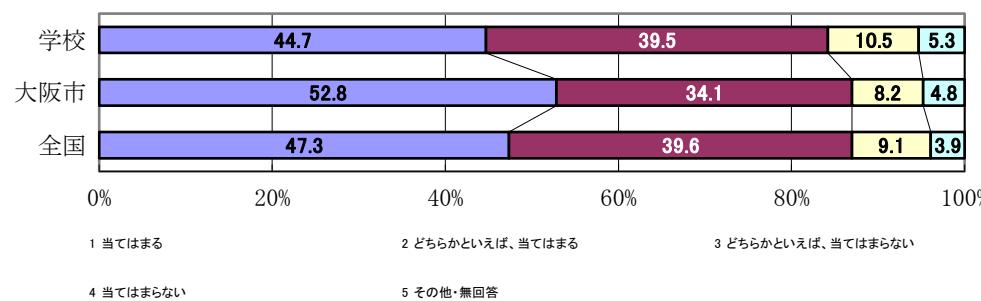
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか、



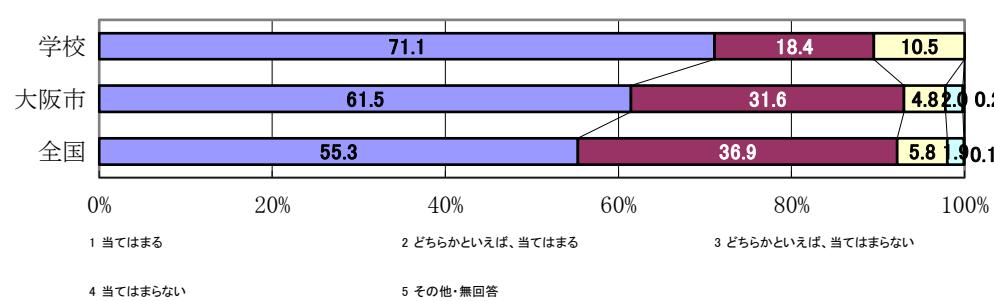
5

自分には、よいところがあると思いませんか、



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか、



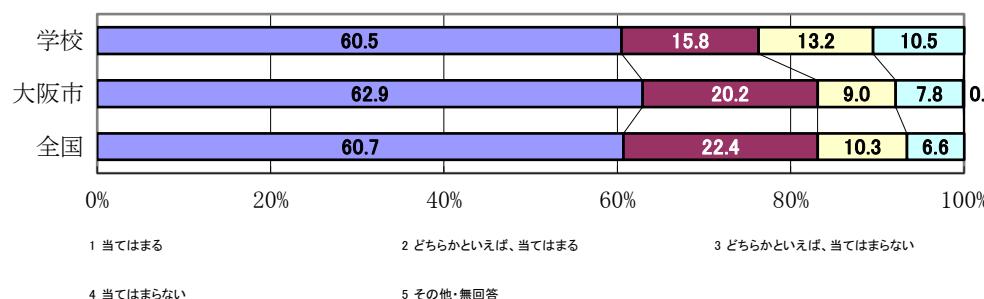
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

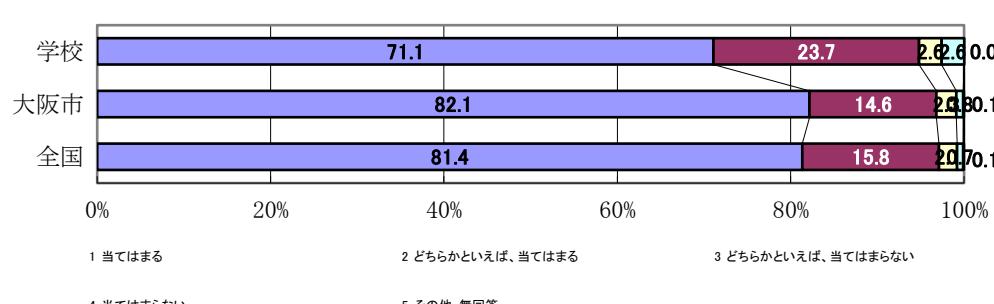
7

将来の夢や目標を持っていませんか



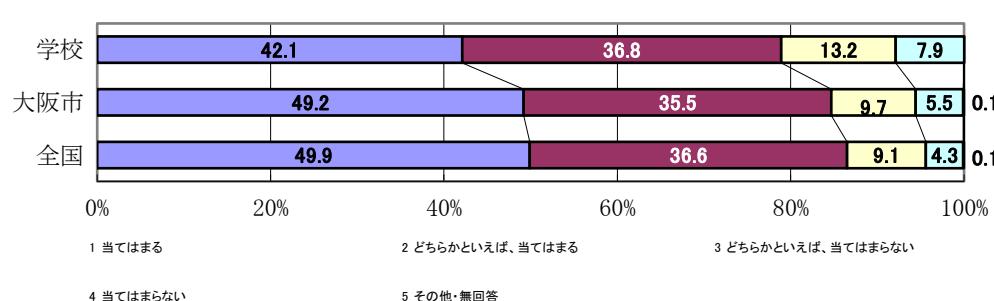
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



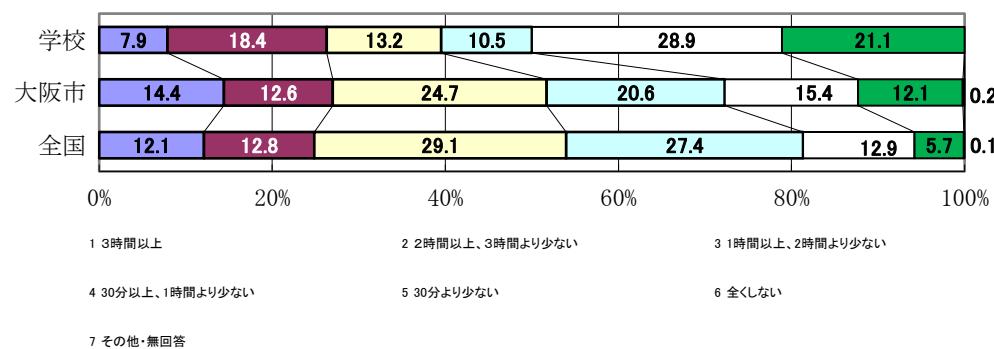
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



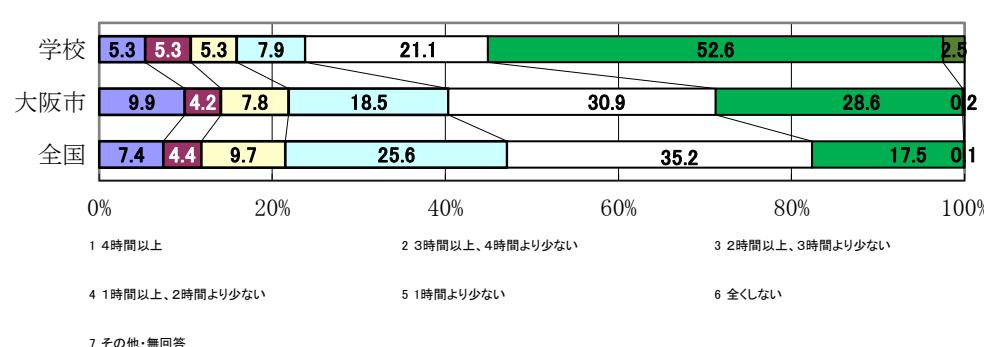
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



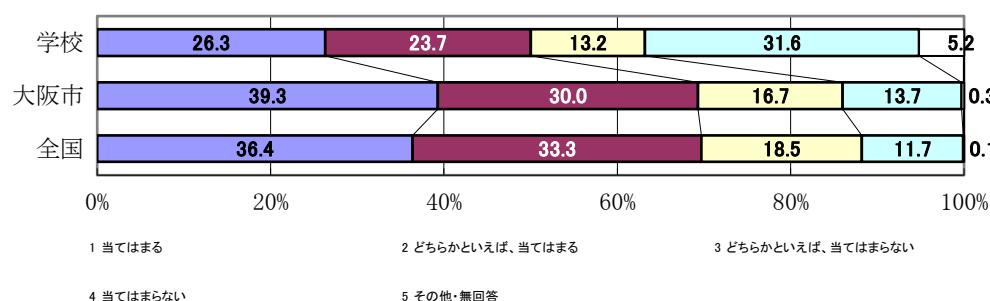
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

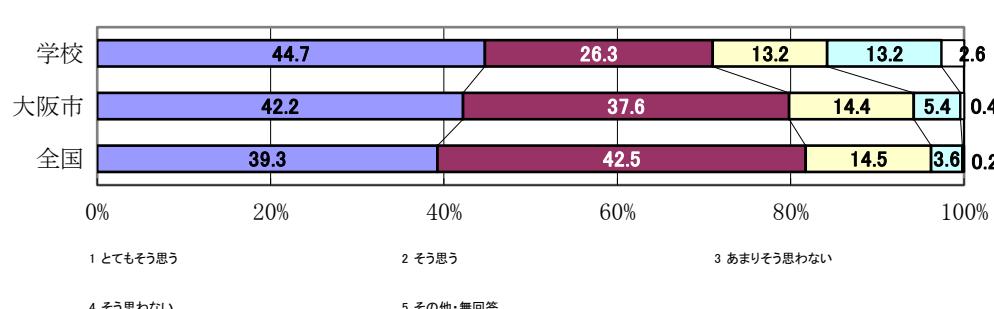
24

読書は好きですか



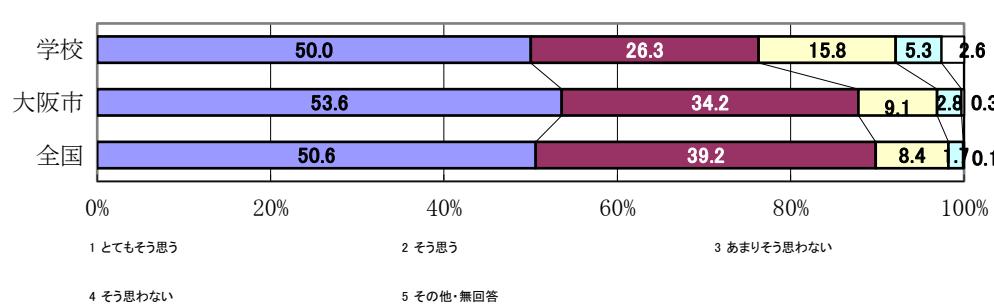
72

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか



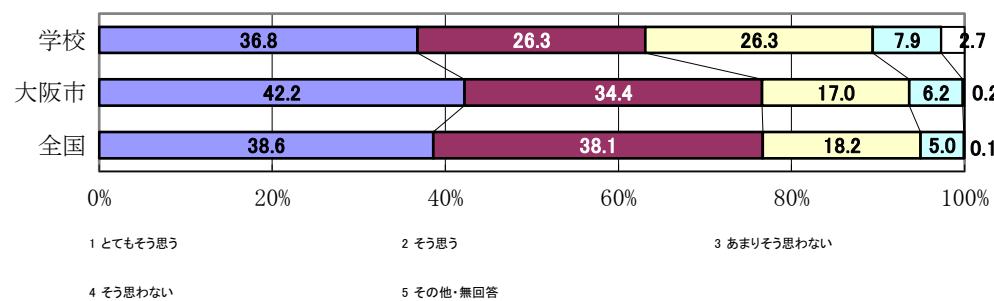
73

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができるだと思いますか



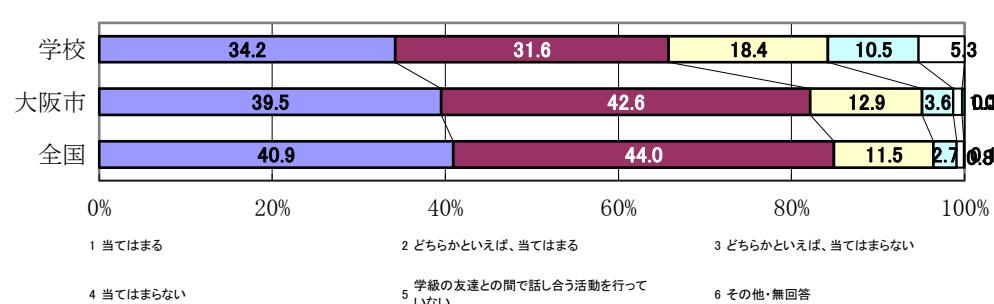
75

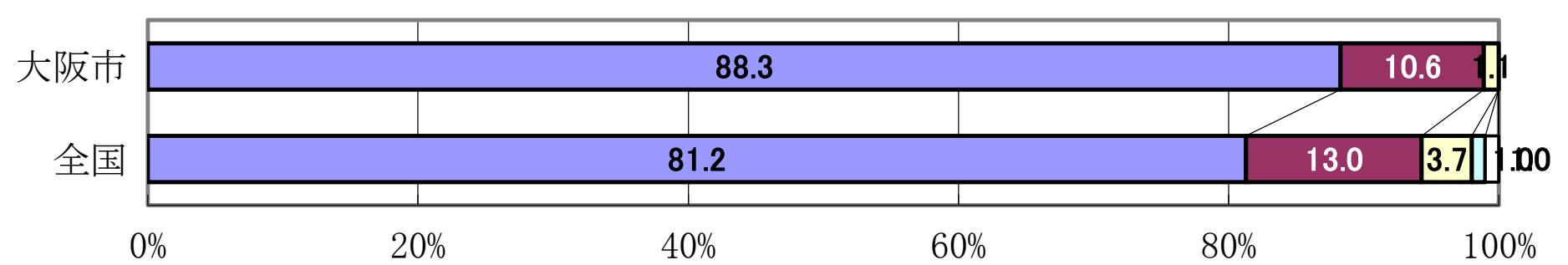
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができだと思いますか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか





学校質問より

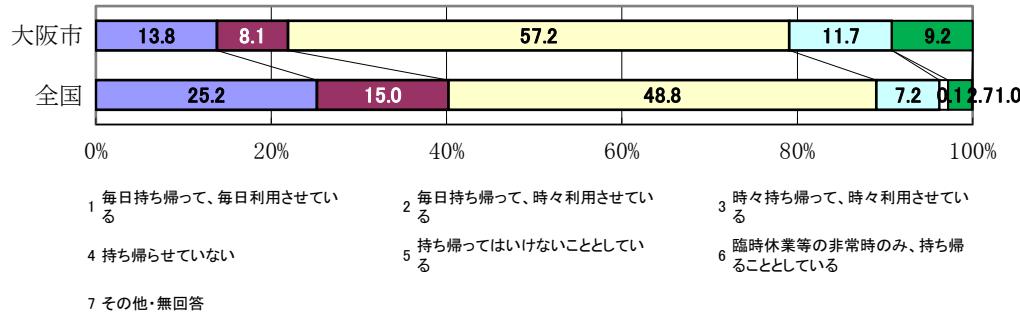
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

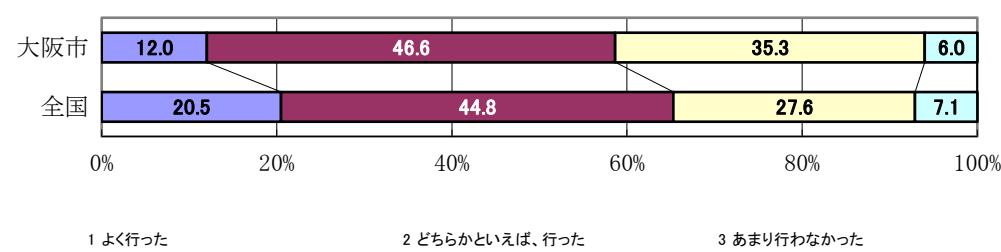


1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
2 每日持ち帰って、時々利用させている
3 時々持ち帰って、時々利用させている
4 持ち帰らせていない
5 持ち帰ってはいけないこととしている
6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
7 その他・無回答

72

前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

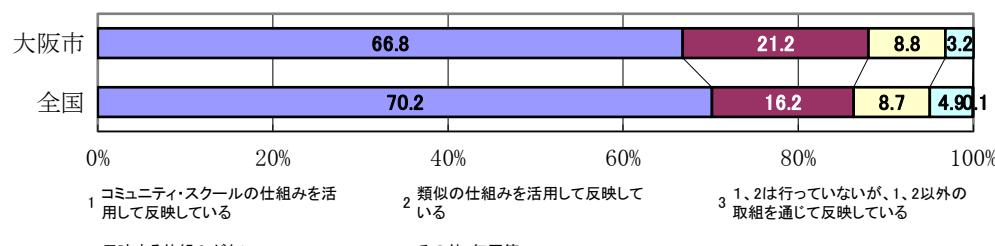


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった
5 その他・無回答

75

コミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映していますか

学校 「コミュニティ・スクールの仕組みを活用して反映している」を選択

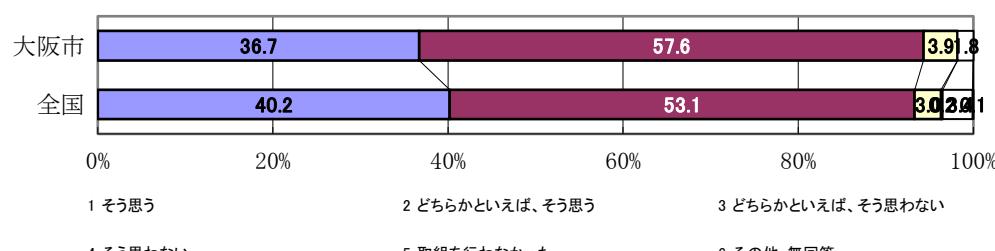


1 コミュニティ・スクールの仕組みを活用して反映している
2 類似の仕組みを活用して反映している
3 1、2は行っていないが、1、2以外の取組を通じて反映している
4 反映する仕組みがない
5 その他・無回答

77

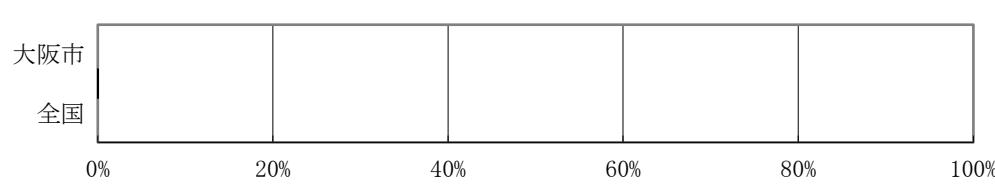
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない
5 取組を行わなかった
6 その他・無回答

学校 「」を選択



0% 20% 40% 60% 80% 100%